

心と心をつなぐ 女と男の情報誌

アイアム

Vol.

36

「アイアム」ってご存じですか？

～自分の考えを自分の言葉で話す、そんな生き方がしたい～
…そんな意味を込めて



特集

坂川市長 新選出市議会議員に聞く

市長に聞く

就任後、1年6カ月を迎えた坂川市長を交えての待ちに待ったアイアム誌上でのインタビュー。

これからの時代、男女が共に参画していく社会における行政の取り組みや支援について、少子化対策や地域力を高めるための行政と市民の役割とは？

Masaru Sakagawa

坂川 優

プロフィール

昭和27年10月28日生
血液型 O型
趣味 読書、ジャズ鑑賞

福井県立藤島高等学校卒
北海道大学中退
昭和58年
福井県議会議員当選就任
平成10年
福井県議会議長に就任
平成18年 福井市長就任



少子化問題の具体的な対策

一働く女性が仕事と家庭を両立するための支援について

これからの時代に向けて、先駆けた対策を… 企業も・行政もすべし

これからの時代、企業が優秀な女性の労働力を集めるには、育児をしながら働けるようにするための努力が非常に重要です。その努力に対し、表彰したり、紹介するなど、対外的にアピールすることで、働く女性を応援する企業を行政は積極的に応援したい。

地域の人々の力を活かせる環境づくりが重要

親が安心して子どもを生き育てながら働けるようにするためには、子育てを応援したいという地域の方々の力が不可欠です。そういう精神を発揮できる社会にすることで地域力アップにつなげたい。例えば子どもの安全な居場所が確保できる、地域の子ども教室や児童館の充実、学校や公民館を利用して地域と子どもが結びつくような環境を整えるなど、総合的な支援が必要です。

一子育てサポート体制について

「子育て応援の家」「子育てマイスター」などの 制度を通して、相談機能を充実させる

マニフェストの中で、子育てで悩むお母さんのための相談機能を増やすことを掲げています。NPOや子育てマイスター、また主婦の人でも一定の研修を受けて相談役ができるよう、そして、小児科の先生、有資格者にお願いするなど役割を広げていきます。

「子育て応援の家」や「子育てマイスター」は、登録制度を設けることで、より安心して相談していただけるようにします。

子育てに直接かかわる組織を増やし、 民間と行政がともにサポート

今の中老年の女性はとても若くなっていて、孫の面倒を見るのは、“おばあちゃん”という時代ではなくなっています。逆に、自分の孫より地域の子どもを育てるサポート(役割)を元気で若い中老年の方々をお願いするような組織づくりが大切です。

緊急の病児保育など、専門組織と企業グループが契約するような対応も望めます。

福井市では、一時保育や育児代行なども行う「すみずみ子育てサポート」制度もあります。

アオッサでは、当初、館内に保育施設を設ける予定でしたが法律上困難なため、ピルの向かいに福井市子ども一時預かりセンター『の〜びのび』を設置し、シルバー人材センターに委託して、有資格者が子育て支援を行っています。



「の〜びのび」





インタビュー風景 (H19.6.27)



一 福井市の女性職員の社会的地位・登用について

行政も女性の力に助けられている
どんどんチャンスを活かしてほしい

個人的には、女性職員の皆さんに、どんどん主任昇任試験を受けていただき、昇格できるようエールを送っています。しかし、実際に試験を受けた女性職員は大変少なく、残念な結果でした。

若い人は子どもが小さいことや、40代・50代は、精神的に負担が大きいなど、様々な要因はあると思いますが、女性の細やかな心遣いは、行政にとっても良いことなので、優れた能力を活かした職場づくりをお願いしたいと思っています。

一 市長マニフェストの高感度コンパクトシティについて、女性の役割は？

街を楽しみと思えることが基本
街に何を投資できるかの視点が大切

コンパクトは、「小さく凝縮すること」の意味。高度成長時代とバブル崩壊後の政策が同じではいけない。時代を見据えた身の丈にあったまちづくりを見直そうというのが趣旨です。

賑わいやオシャレ、音楽・文化事業など、街中ならでの非日常的な楽しみを大切に街を考える。

そんな中で、女性の感性が十分に活かされなければいけないと思っています。

一 地域力と男女共同参画推進との関わりについて

子育ては地域が支える時代に…
その活動の繰り返しで、地域力を高める

よりよい地域社会を創るためには、男女共同参画社会は当然の帰結だと考えています。

特に女性は、人口減少時代の到来でこれまで以上に外で活躍していただける状況も増えると思いますので、女性だけでは負担の大きな子育ては、地域が応援するということが大事です。そうすることで、子どもたちは、小さい時から地域のみんなに育てられたという経験を積み重ね、親たちも地域との関わりの中で、我が子が育まれたという意識を持つようになります。効果が出るまでにはかなり時間がかかりますが、そのような活動の繰り返しで地域を支え、地域力を高めることにつながるのだと思います。

一 産婦人科医・小児科医が不足している現状について

安心して出産や子育てができるために
医師の待遇の改善と評価を

私自身、長期入院をした経験から医師たちが休む時間がない、他の部門と連携をとる時間もないなどの厳しい境遇に置かれていることを実感しました。特に産婦人科、小児科は、医療リスクなどで、志願者が減ってきているようです。

これを打開するには医師たちのいろいろな苦勞を理解すると同時に、具体的には、医師の技術料に診療報酬でより高い評価を与えるなども必要ですね。今後、機会あるたびに市長会などのレベルで、国に対し要望していきたいと思っています。



新選出市議会議員に聞く

いままで経験したことのない超少子高齢社会となる日本の将来を考えると、これからは男女共同参画が最も大切な課題であると、国は警鐘を鳴らしています。

そこで、福井市議会の新議員となられた6名の方々から、男女共同参画をベースにして日頃の問題をどうとらえ、将来の市政にどのように反映させたいかについて、話を聞いてみました。

Q 福井市行政の中で、男女共同参画をどのように考えますか？

*行き渡っていない男女共同参画意識

奥島 男女共同参画はまだ広く啓蒙する必要があります。特に幼い時からの教育が大切です。小・中学校や高校では家庭科を男女の区別なく行っていますが、男女共同参画の目的意識をふまえた上での教育でなければいけないと思います。目的意識が土台となってこそ効果があがるものですから。

峯田 私は、地区の自治会の役員をしていたので、男女共同参画の意識開発に努めました。しかし、農林水産業に携わっている女性は男性と同じように働いていますが、女性が役員となって意見を述べることはあまりありません。これからは、こうした場へも女性が出ていくべきではないでしょうか。施策はあっても実際、事業所等では見えてきません。

島川 公民館などの地域活動に行くと、男性が家で留守番し、女性が大いに活躍しています。この現状を見ると、女性も希望すれば何でもやっていけるのだ、という事を小さい頃から学ぶ機会を多くすることが大切ですね。

堀江 どんな所へ出るにも、意識をもつことが大事です。この仕事は男性に向く、女性には向かないという意識や垣根を取り払わない限り、男女共同参画はありません。すべてが、万能選手にならないと駄目ですね。垣根を越えるのに、男の援助があるというのが根底にあるのがおかしいですよ。最初に自分の意志ありきです。



奥島 光晴 議員

*矛盾ある社会の仕組み

鈴木 医療現場で働いている人は女性が圧倒的に多く、特に看護師さんは必要な存在です。しかし経験も資格も備わりながら結婚を機に辞めていく人が多いのです。女性の場合、母性保護の点からも、育休などの配慮やサポートをして守っていく必要がありますね。一方で現在の社会の枠組みから言うと、男性が例えば3年のプロジェクトに配置されたとき、「明日から育休をとります」と言うと多くの場合仕事を任せられなくなってしまいます。

下畑 今30代女性の未婚が多いですが、女性は体力が備わった若い時代に結婚、子育てをすることが理想だと思います。必要なことは正社員雇用者とパート、短時間雇用者の賃金格差を是正することではないでしょうか。



鈴木 正樹 議員

Q 福井市では、自治会等地域に女性の役員がいないことをどう思いますか？

*役立てていきたい、女性の力

奥島 私は、地区の体育連盟の会長をしています。ここは男ばかりの世界のようですが、プランニング等には女性の視野がとても大切です。そのため、会のリーダーを立てるとき、その方の夫や家族の理解を得て参画してもらっています。

島川 今回、立候補したのは自分の意志は勿論、夫や家族が応援してくれたからです。後ろから押してくれたから出ることができました。育てていくぞ！頑張れ！という応援も大切ではないでしょうか。



島川 由美子 議員

相手を思いやり、 認め合う心こそが 男女共同参画の基本

*意思決定の場へクォータ制を

峯田 政策決定の場へ女性をあげるには、枠を作ってしまう方がいいのです。会長、副会長など役職は5人から7人います。その何割かを女性にすればよいのです。そんなところから政策決定の場につながっていきます。まず進出する機会をつくることです。規約で何割かを決めればよいのですがそれは、女性自身が各委員会で決めることです。もし、まちづくりの中に女性がいなかったらおかしいですね。その点はきちんとした方がよいでしょう。



峯田 信一 議員

奥島 女性が政策決定の場に出ることは絶対に必要です。女性の考え方や視野には、男性にないものがありますからね。そこが活かされるのがよいと思います。ホテル業界では、第一線は女性です。女性でなければ出来ません。しかし、社長は大方男性です。役員会では何も知らない男性が出てきて話をするのです。私は、別途女性の会を作り話し合いをしてもらっています。

Q 超少子高齢社会にむけ、政策に反映させたいことは何ですか？

*女性は意欲をもって進もう



堀江 廣海 議員

堀江 福井市役所でも女性の進出の場はあるし、また進出しています。しかし、女性自身が内容によって、自分には向かないと思う人もいますからね。例えば夜討ち朝駆けの仕事でも、女性の立場でやる気持ちがあるのかないのか、その意識が問題です。女性が意識を改めさえすれば、どんなところへでも参画できますよ。

鈴木 保育園の延長保育と児童館を増やすことに取り組みたいです。私も、家では保育園の送り迎えなどとしてサポートしています。

峯田 私は、小さなことから垣根を取り除くことが大事だと思っています。しかし、介護はする本人もさることながら、されるほうは女性がいいように思います。何でも女性、男性と決めつけず、それぞれの中で決めればよいのです。

堀江 職場は競争社会です。みんなが平等に進出できればいいのですが、社会に入れば人はいろいろ苦しみを抱えて生きていますからね。

Q 若い女性はずっと働き続けたいと思っています。 若いお母さんが安心して働けるよう保育所、児童館の充実を 図って欲しいのですが？

下畑 金と物と人が揃わないと何もできません。若いお母さんがのびのびとやっていくには、地域で支えるシステムがないと、安心して次の子どもが産めません。このシステムづくりをやりたいと思います。

奥島 何をするにも相手を思いやる心が大切ですね。妻はホテル業をしているので、私は洗濯など自分でやります。互いに感謝の思いが通じ合うことが大切なのではないでしょうか。



下畑 健二 議員

介護講座「支えあう介護」

4月から7月にかけて全10回の介護講座が開かれました。締め切りまでに募集定員を上回る申込みがあり、毎回熱心な質問や意見が交わされるなど大変充実した講座となりました。

終了後のアンケートの中からいくつかご紹介します。



介護を体験

- 少子高齢化の現代社会ですが、2025年の高齢者がピークになる時点で介護する人がどのくらい確保できるかととても不安です。中学・高校の授業内容で介護の経験や知識を身に付ける必要があると思います。
- 認知症の方への対応は、健康な人と差別することなく、自然に話しかけることが大切だと知りました。
- 施設には色々な特殊性があることが分かりました。
- 福祉用具には、自立型と介助型があることは、考えてもみませんでした。少しでも本人が自立できるような道具が大切だと思います。
- 自治会型デイホームの事業内容がよく分かりました。



自立を助ける介護用具

「コミュニケーション力」養成講座

6月13日、20日、27日の3回にわたって開催された「コミュニケーション力」養成講座は30人の参加者を得て、(有)マナーコンサルティングの中里弘穂講師のわかり易く楽しい指導のもと、和気あいあいのうちに進められました。

キーワードは「話し上手は聞き上手」「自分の言葉で」「ミラーリング」「自分が変わる」で、講師の話に熱心に耳を傾け、おっかなびっくりの実技で汗をかいたようです。参加者アンケートでは9割の人が「満足した」と答えていました。

特に夫婦で受講された藤永隆一さん、恵美子さんのお二人から話を伺ったところ、「これで私たち夫婦は、あと5年は持ちます。」とニコニコ笑って答えてくれました。



ご夫婦で熱心に受講されたお二人に幸あれ!

「子育てパパカレッジ」

4月22日(日)に「子育てパパカレッジ」が行われました。午前中は「子育て奮闘料理」午後は「ネイチャークラフト」に23名の親子が挑戦しました。参加者の声を聞きました。



感想

- 楽しく作れてよかった。
- 半熟オムレツがおもしろかった。
- 自分でパパと一緒に作れて楽しかったし、嬉しかったし、おいしかった。
- 父親でもわりと簡単に美味しく作れるのがわかってよかったが、電気関係の不具合があったのが残念。
- 家ではここまで出来ないでこういう企画があるとよいと思う。
- 普段、なかなか子どもと料理をする機会がなかったのでよかった。



料理の様子

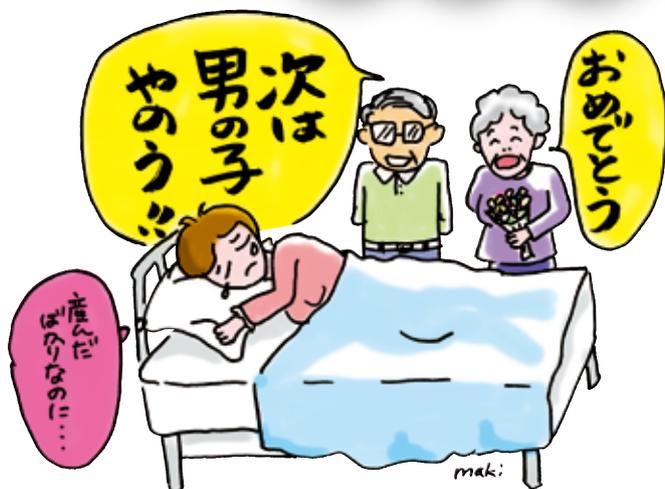


クラフトづくり

今後実施してほしいこと

- アクセサリー作りをしたい。
- 手芸を試してみたい。
- クリスマス、ひな祭り等の料理、ケーキ作り、七夕などの行事に関するもの、その他子どもと一緒にできるもの。

「言われて傷つく言葉」



デリカシーなさすぎ...



Book Book Book



女性の品格

装いから生き方まで

坂東 真理子著

PHP新書 定価:720円(税別)

著者略歴

1946年富山県生まれ。埼玉県副知事を経て、98年女性初の総領事(オーストラリア・ブリスベン)2001年内閣府初代男女共同参画局長、昭和女子大学女性文化研究所長、2007年より同大学学長。

著書に「副知事日記」「ゆとりの国オーストラリア・ブリスベン 総領事見聞録」「男女共同参画社会へ」「新家族の時代」などがある。

著者が数々の経歴の中で出会った品格ある男性、女性に共通する点は、決断力と勇気に富み、その上優しさに溢れている事だと言っています。

今や日本女性の社会進出はめざましいものがあります。著者がこの女性たちに求めたいことは、決して従来の男性の価値観に基づく権力志向、拝金思想の罠に陥らないで、人を大切にできる優しさを持つような品格ある有能な女性になることを望んでいます。

さらに、現在の世の中は、過去の日本人の常識であった日常の作法が徐々に失われていますが、そこをもう一度改めて見直し、日々の暮らし方やよい人間関係を保つための心構えや行いを細やかに書いています。

そして、「女性はぜひ人間として品格ある男性を選びなさい。それが自分の品格を高めることとなり、世の男性は品格を身につけるために切磋琢磨するようになり、ひいては日本社会を品格あるものに変えていきます。」と投げかけています。

女性は、男性も社会も創り変えるすごいパワーとエネルギーを持つものだと思われ知らされました。

第18回 男女共同参画 全国都市会議inふくい



11月8日(木)

ところ：アオッサ8階 県民ホール
5・6階 地域交流プラザ

入場無料

13:00～ オープニング

13:50～ 基調講義

内閣府大臣官房審議官(男女共同参画局担当) 竹林義久氏
テーマ「男女共同参画社会の実現を目指して」

14:20～ 基調講演

法政大学キャリアデザイン学部教授 武石恵美子氏

テーマ「男女共同参画社会とワーク・ライフ・バランス」

15:45～ 分科会

11月9日(金)

ところ：アオッサ8階 県民ホール

9:30～ 全体会

お問合せ:0776-20-5353(男女共同参画・少子化対策室)

パートナーからの暴力ホットライン

夫婦や恋人などからの**身体的暴力・精神的暴力・経済的暴力・社会的暴力・性的暴力・子どもを巻き添えにした暴力**に対し、下記機関があなたを支援します。

支援センター 配偶者暴力被害者	福井県生活学習館(ユ-アイふくい)	福井市下六条町14-1	0776-41-7111 0776-41-7112	火曜日～日曜日 (第3日曜日、国民の祝日の翌日を除く)	9:00～17:00
	福井県総合福祉相談所女性相談課	福井市光陽2-3-36	0776-24-6261	月曜日～金曜日	8:30～17:30
	福井健康福祉センター	福井市西木田2-8-8	0776-36-2857	月曜日～金曜日	8:30～17:30
警察本部	警察安全相談室	福井市大手3-17-1	#9110 又は 0776-26-9110	毎日	24時間対応
	女性被害相談電話		0120-292-170 0776-29-2110	月曜日～金曜日	8:30～17:15
	福井県人権センター	福井市手寄1-4-1 (アオッサ7階)	0776-29-2111	火曜日～金曜日 第2、4日曜日と その前日の土曜日	9:00～17:00
人地福祉 擁護課	女性の人権ホットライン	福井市春山1-1-54 (福井春山合同庁舎)	ゼロコロナのハートライン 0570-070-810 (PHS、IP電話からはつながりません)	月曜日～金曜日	8:30～17:15
	人権相談		0776-22-5141		
	NPO法人 福井被害者支援センター	福井市大手3-11-17	0776-32-5111	水曜日	16:00～20:00
				火・金・土曜日	14:00～18:00
	福井市男女共同参画・子ども家庭センター相談室	福井市手寄1-4-1 (アオッサ5階)	0776-20-1541	月・水・金曜日	9:00～18:00

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)があなたを守ります。

編集後記

公務お忙しい中、坂川市長にアオッサでインタビュー。もっとテーブルを近づけてと気さくな市長さん。1時間はあっという間に過ぎてしまいました。パワーある女性や福井市民の活躍ができる環境を整え、支援をされるとのこと。また、新議員のみなさんへのインタビューを行い、それぞれ個性ある視点から活発なお話をいただきました。これからの市政に期待しています。

企画・編集／アイアム編集委員

岩木 弥恵子 田中 芳枝
戸出 瞳 畑岡 久子
藤井 輝雄 蓮花 慶子
(50音順)